

## 避難所運営ゲーム「HUG」を実施して



10月15日に開催したスタッフ研修 HUG の内容をお伝えします。さて HUG (ハグ) と言えば「抱きしめる」その意味も兼ねており、この「HUG」は「hinanzyo unei game」避難所運営ゲームとなっています。HUG は、2007年に静岡県危機管理局が企画・開発した防災カードゲームです。

災害時に多くの方が避難所に来られ、その光景は実際体験した人しか解らないと思いますが、このゲームは避難所開設（小学校、体育館や教室、保健室を想定）をシュミレーションしていきます。



避難者の年齢、性別、国籍、ペットなどそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。グループ5～6名とカード読み上げる人（読み手）1名で行います。避難所運営では、組織づくりや部屋割り、避難者名簿作成、避難所本部の設置、

取材や問い合わせへの対応、食料、物資の受け入れ、配給、炊き出し、ごみ、風呂、ペット、トイレ、ボランティア、外国人の受け入れなど様々な事情を考慮しながら、通路の確保など考え、グループで考え避難者カードを配置していくというものです。



今回 HUG を行った中で、ペットは、外に動物用のテントを設置したり学校のウサギ小屋を利用したり、また盲導犬は家族と同じに扱うといったような対応をグループで考えていました。他には、部屋の振り分けで、家族単位、外国人、バス団体客、車いすの人、感染症に罹った人への対応や帰る家がこわれた人への対応などグループから報告がありました。このゲームで避難生活や平時の備えについて考えるきっかけになったと思います。また当日は「衛生管理について（食中毒発生予防から）」避難所での衛生管理も含めた講義と「非常時の食事の提供」～災害時対応～の講義が生涯教育に研修会において開催されました。

（文責 福祉 米谷佳彦）

